



第19回 たらま島一周マラソン大会

男子最年少V・ 女子4連覇



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

第19回 たらま島一周マラソン大会

去る11月12日(土)、第19回たらま島一周マラソン大会が開催された。島内外から大勢が出場し、澄みきった秋晴れの下、住民たちの声援を受けながら4つのコースで健脚を競った。このうち島を1周する24・3キロは男子が高校2年生の池間廉さんが(宮古島市)が16歳で最年少優勝、女子は塚本恭子さん(東京)が4連覇を飾った。

ひさし〜ラスト〜



まもるくんも完走しました



走り終わったたらヤギそばですね



楽しく走ろうたらま島



ふれあいパーティーを楽しみに参加する選手も多いです



今大会最年長84歳、まだまだ若い者には負けません



最後は、みんなで踊って忘れられない一日になりました



全員完走!



多良間幼稚園・小学校で野菜の植え付け



去る10月25日、多良間幼稚園・小学校で野菜の植え付け作業が行われました。幼稚園から6年生まで参加して、ここにご農園にニンジンとジャガイモを、農業青年クラブの湧川さん、東風平さん、仲筋さん、高江洲さんの指導のもと高学年が低学年に教えながら植え付けました。児童らは、野菜が育つまで役割分担をして、水やりや雑草を取る作業を行います。来年3月頃の収穫祭が楽しみです。

特別障害者手当及び障害児福祉手当

○特別障害者手当

<対象者>

在宅で心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳以上で一定の要件に該当する方に月額26,830円の手当が支給されます。

(認定基準により該当しない場合があります。)

※両手当とも支給月は2、5、8、11月にそれぞれ前月までの3ヶ月分を本人の口座に振り込みます。

※支給制限に該当する場合は速やかに届け出をする必要があります。

※未届出の場合、支払った手当を返還して頂くことになります。

<支給制限>

- ・施設に入所している方
- ・障害年金を受給している方
- ・本人及び扶養義務者の所得が一定額を超える方

<問い合わせ先>

多良間村住民福祉課

TEL : 0980-79-2623 FAX : 0980-79-2664

宮古福祉事務所福祉班

TEL : 0980-72-3771 FAX : 0980-73-2131

病害虫まん延防止にご協力を!!

沖縄県にはサツマイモなどに被害を与える害虫、カンキツ類などに被害を与える病気が発生しているため、植物防疫法により、以下の植物は県外への持ち出しが禁止されています。

サツマイモ(紅イモ等)、エンサイ(ウンチェバー)、アサガオ、グンバイヒルガオ、モミジヒルガオ等の生莖葉、地下部(イモ)

カンキツ類(シークワーサー、タンカンなど)、ゲッキツ、オオバゲッキツ(カレーリーフ)などの植物(苗木)

お菓子などの加工品、カンキツ類の果実は自由に持ち出せます。

詳しくは下記へ

農林水産省那覇植物防疫事務所平良出張所 0980-72-2433

平成
28年度

多良間村民運動会



去る11月3日(木)、小学校グラウンドで村民運動会が開催された。

スポーツを通して、村民の健康増進と心のふれ合いを大事に、明るい平和で豊かな地域づくりと活性化を図るをテーマに、竹馬競争や綱引き、踊りなど様々な種目を楽しみながら競い合い、親睦を深めていた。優勝は5年振りに土原区、2位大木区、3位天川区でした。



お宅の住宅用火災警報器、 そろそろ交換時期では ありませんか？



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。
10年を目安に交換しましょう。

[設置時期を調べるには]

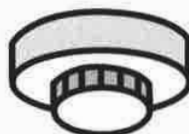
火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、
または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら！

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



これから10年間、
また安心を見守るよ！

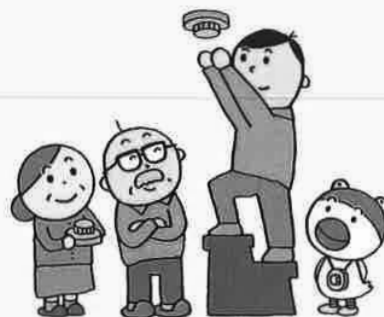


記入例
設置年月 2016年9月

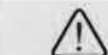
●取扱説明書は、大切に保管してください。

離れて暮らすご家族にも、呼びかけましょう！

みなさんのお宅だけでなく、
離れて暮らす大好きな
おじいちゃん、おばあちゃん、
ご近所のお年寄りだけのご家庭にも
ぜひ声をかけてください。



住宅火災で、毎年約1,000人の方が亡くなっています。そのうち、高齢者が約7割を占めています。
住宅用火災警報器の交換や、作動確認などの際には、家族みんなで協力しましょう。



ご注意ください

- 火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。
- 交換やお手入れ、作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。
- 捨てる際は、本体と電池を別にして捨てましょう。お住まいの各自自治体が定める条例に従って廃棄してください。

一般社団法人 日本火災報知機工業会

〒110-0016 東京都台東区台東 4-17-1 偕楽ビル(新台東)

第13回多良間島ピンダアース大会

去る10月9日(日)、第13回多良間島ピンダアース大会が、多目的広場で開催された。

3階級に20頭が出場し、互いに前足を高く上げて角と角を叩きつけ合うなど迫力の闘いを展開。軽量級(40〜54キロ)は「シンメトリ号」が連覇、中量級は「三代目号」、重量級(70キ超)は「荒鷲2号」がともに初優勝を果たした。会場には大勢の住民や観光客が訪れ、ピンダアースや鳴き声大会を楽しんだ。



ガツンと角のぶつかり合う音は迫力満点

マイダツ攻撃!



個性的な鳴き声を披露してくれた、鳴き声大会の参加者



【軽量級】

優勝=シンメトリ号 豊見山正
準優勝=ザ・レン号 渡口末子

【中量級】

優勝=三代目号 奥平貞男
準優勝=レイパツキャオ号 下地雅晴

【重量級】

優勝=荒鷲2号 下地雅晴
準優勝=ドラゴン号 清村隆男

【ヤギの鳴き声大会】

子どもの部優勝=下地健一郎(小5)
大人の部優勝=村山隆(東京)

カンキツグリーンング病のまん延を防ぐために

持ち込み診断へのご協力をお願い

沖縄県ではカンキツグリーンング病への感染の有無を無料で診断する、持ち込み診断を実施しています。

カンキツグリーンング病とは?

世界的に重要なかんきつの病気。感染すると数年後に枯れてしまう病気です。

【病気の広まり方】

ミカンキジラミという虫、感染樹からの取り木・接ぎ木など

【治療方法】

現状治療方法はありません。病気の木は感染源となってしまうので、速やかに伐採処分する。

【病気の症状】

黄色っぽい葉やまだらに黄色い葉、一部の枝が枯れるなどの症状があります。

持ち込みの方法

4方向から症状のある葉を含む枝を1本ずつ採取し、袋に入れる。持ち込みはお住まいの市町村役場や下記の機関をお願いします。持ち込み診断の依頼やお問い合わせは下記をお願いします。

お問い合わせ

- 多良間村産業経済課 0980-79-2503
- 沖縄県宮古農林水産振興センター
農業改良普及課多良間駐在所
0980-79-2503
- 沖縄県病害虫防除技術センター
宮古駐在 0980-73-2634

放送大学で学んでみませんか？

放送大学はテレビなどの放送や、インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、いろいろな年代や職業の人達が学んでいます。大学や大学院の授業科目を一科目から気軽に学べるチャンスです！

★放送大学 教養学部と大学院(修士選科生・修士科目生)の特長の一部を紹介します。

～教養学部のご紹介～

- (1) 学力試験はありません。
- (2) 15歳以上ならば誰でも選科履修生・科目履修生として入学でき、約300科目の中から好きな科目を1科目から学べます。
- (3) 18歳以上で大学入学資格をお持ちの方は誰でも全科履修生として入学でき、卒業すると学士(教養)の単位を取得できます。
- (4) 科目群履修認証制度「放送大学エキスパート」では、「心理学基礎プラン」、「健康福祉指導プラン」、「福祉コーディネータープラン」など全28プランを実施。ひとつの分野を体系的に学ぶことができ、認証条件を満たされた方には「認証状」が交付されます。

学生の種類	入学金	授業料
科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	7,000円	1科目(2単位) 11,000円(テキスト代含む)
選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)	9,000円	
全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)	24,000円	

～大学院のご紹介～

18歳以上ならば誰でも修士選科生・修士科目生として入学でき、約50科目の中から好きな科目を1科目から学べます。

学生の種類	入学金	授業料
修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	14,000円	1単位 11,000円(テキスト代含む)
修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)	18,000円	2単位 22,000円、4単位 44,000円の科目があります。

(注：博士の学位を目指す修士全科生の学生募集については、別日程で入学選考があります。)

★只今平成29年度第1学期入学生募集しております。詳しい資料を進呈致しますので、お気軽にお問い合わせください。

【出願期間】

- 第1回：平成28年12月1日～平成29年2月28日(必着)
- 第2回：平成29年3月1日～3月20日(必着)

資料請求・お問い合わせ先

〒903-0129 沖縄県西原町千原1番地
 (琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)
 放送大学沖縄学習センターTEL098-895-5952
 放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

12月1日は「世界エイズデー」

「知っている、分かっている AIDS IS NOT OVER (まだ終わっていない)」

宮古保健所は、12月1日の「世界エイズデー」の前後1週間、検査日を拡大して実施します。今回は夜間検査も行います。

- 【日時】○11月28日(月)～12月2日(金)：午前9時～11時、午後1時～3時
- 夜間検査(要予約)：11月29日(火)午後6時～8時

- 【場所と連絡先】○場 所：宮古保健所1階、④検査室
- 電 話：73-5074

※HIV(エイズ)検査のほかに梅毒検査・クラミジア検査・肝炎検査(B型、C型)についても、希望者には実施します。
 ※通常は、祝祭日を除く毎週火・木が検査日です。

村長のたうけ一むぬ中む。(ひとりごと)

七五年前の十二月八日連合艦隊のハワイ真珠湾攻撃で日米開戦が火ぶたをきった。作戦を指揮した山本五十六は「大きな一撃を与えたら早期講和を進める」が口癖だったという。

当時、政府・軍部が強力に推進していた中国侵略、ドイツ・イタリアとの三国同盟に反対し、日本の進路に関し明晰な意見を持ち、陸軍や右翼の暗殺の脅迫に負けずそれを堂々と訴えた。対米戦争には「負けるに決まっている戦争をするやつがあるか！」と強行に反対。「三国同盟を結んだらアメリカと戦争になる。そうなったら東京は丸焼けにされて日本人は惨めな結果になるだろう」と。そして残念ながらそのとおりになった。軍部に押し切られた形で開戦が決まると、堀悌吉中將(ほりていきち)・山本五十六が最も信

頼し、敬愛していた親友への手紙に「個人の意見と正確に正反對の決意を固め」「大勢に押されて立ち上がらざるを得ずとすれば、艦隊担当者としては到底尋常一様の作戦では見込み立たず。結局、桶狭間(織田信長が少ない兵で今川義元を破った戦い)とひよどり越え(源義経が急坂を駆け下り敵の背後をつき圧勝)と川中島(武田信玄と上杉謙信の宿命の合戦)とを併せて行うほかやむを得ざる羽目に追い込まれる・・・」このような覚悟であの戦争に臨んだ軍人はほかに見あたらない。世界状況、日本の実力を分かっていたので理性的、現実的な判断ができた。今、思うと計り知れぬ洞察力、先見の明の持ち主だった。

よく言われる真珠湾攻撃の最後通牒の遅れ。山本五十六は何

度も参謀に「最後通牒は攻撃前に相手に届くようになっていようだろうな」と念を押し確認した。しかし、最後通牒や宣戦布告は政府の権限・責任である。遅れたのは外務省とワシントンの日本大使館の怠慢だったといわれている。そのせいで、日本は戦後卑怯者扱いされた。

山本五十六は今後を担う若者を大切にしたい。「今の若い者は、などと口はばたきことを申すまじ。実年者は、今どきの若い者などということ絶対にならぬ。なぜなら、われわれ実年者が若かった時に同じ事を言われたはずだ。今どきの若者は全くしようがない、年長者に対して礼儀を知らぬ、道で会ってもあいさつもしない、いったい日本はどうなるのだ、などと言われたのだ。その若者が、こうして年を取ったままで、だから、

実年者は若者が何をしたか、などと言うな、何ができるか、その可能性を発見してやってくれ。」

また、組織の上に立つ者へいましめとして、語っている。「やってみせ、言ってみせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」今でも、通用するかみしめたい言葉である。



第50回ふしゃぬふ大運動会

去る11月6日(日)、西原町民陸上競技場で、在沖多良間郷友会主催の第50回ふしゃぬふ大運動会が開催されました。

多良間村出身の方、その子、孫、ひ孫、配偶者、そして、現在も多良間に住んでいる方、総勢500名近くの参加者が交流と親睦を深めるために集い、楽しく、真剣に、競技へ参加したり、応援したりと楽しんでいました。

競技は、定番の100M走やり

レー、綱引きなどの他、カープヤ大会、PK合戦などのユニークな競技もあり、老若男女楽しめず。

また、現在、多良間村の運動会では参加していない水納島関係者など、全9チームが優勝を目指し奮闘していました。

一番盛り上がった綱引きは、大会が5連覇を果たし、総合優勝は、嶺間会が4連覇を飾り、2位宮良会、3位天川会でした。



広報たらま 10月号のお詫びと訂正

広報たらま 10月号の3ページ、「ふるさと納税寄附のお礼」の記事の1行目に誤りがありました。

誤 「平成 27 年度ふるさと納税ご寄附で、36 名の県内外の」
 正 「平成 27 年度ふるさと納税ご寄附で、15 名の県内外の」

訂正して、深くお詫び申し上げます。

10月

世帯数と人口
(平成28年10月末現在)

総世帯数 527 (-1)
総人口 1,180 (1)
男 634 女 546

区別	人口	世帯数
土原	58(0)	30(0)
天津川	92(0)	40(0)
宮良	103(1)	53(0)
嶺間	71(0)	30(0)
大道	149(1)	67(0)
大木	196(0)	96(0)
吉川	294(1)	122(0)
水納	212(-2)	85(-1)
出生	1	死亡 1
転入	3	転出 2

緊急ダイヤル

火災・救急 ワンクッションコール 119番

警察官派出所 (79-2010) 110番

急病人 多良間診療所 79-2101

歯科診療所医師 79-2162

停電 沖縄電力多良間営業所 79-2147

断水 役場住民福祉課 79-2623

家畜疾病 役場産業経済課 79-2503

ガス専用JA多良間 090-6859-2355

救急に関すること (10月)

- ◆時間外救急受付 13件
- ◆救急車出動 1件
- ◆ヘリ搬送 1件

火災・救急ワンクッションコール: 119

※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

誕生
字仲筋392番地 仲里 美智子(旧姓:徳嶺)さんの長女 咲良さん 平成28年9月23日

おくやみ
字塩川130番地 福嶺 高志(57歳) 平成28年10月11日

広報たらま 寄附金のお礼

大山 峯子様 (宜野湾市在)

荷川取 勝彦様 (うるま市在)

ありがとうございました。



編集後記

* 広報担当をしていると、いろいろな方から面白い情報が寄せられる。

「珍しいミツバチの巣がある」との情報で行ってみると、基本的にミツバチは密閉空間に巣をつくるが、このミツバチの巣はスズメバチの巣のように木にぶら下がっていた。

「白鳥がいる」との情報で行ってみると、本当に4羽の白鳥が赤地原溜池に優雅に浮かんでいた。多良間では白鳥の湖ならぬ、白鳥の溜池でした。

「トックリキワタが咲いている」との情報で行ってみると、字塩川で道路を挟んだ向かいの庭に、まぶしいくらいのピンク色の花が満開だった。

このトックリキワタは、ふるさとを楽園にしたい会々様から譲り受け植樹したと聞いています。ふるさとを楽園にしたい会々関係者の皆さま、多良間で植樹された木や花はしっかりと根を張り花を咲かせています、今後も自然豊かな美しい村を守って行きたいと思えます。有難うございました。

なかまさともや
仲間智也